理學部植物學教室所藏ノ FAURIE 採集ニカヽハル標本ノオ陰デアル。種々御便宜ヲ與ヘラレタ同學小泉源一、北村四郎兩博士ノ御厚意ヲ銘記シテ深ク謝意ヲ表スル。

86) **まるしたばくさりごけ** (新稱) ハ殆ド圓形ノ腹葉ト頂端ガ强ク內曲シテ狹舌狀ニ突出シタ葉ヲ有スル甚ダ顯著ナ新種デアル。近緣種 *S. ontakensis* ST. ハ腹葉頂端ガ2裂シ、葉ハ鈍頭ヲナスノデ直チニ區別出來ル。尙本種ノ葉細胞內ニハ通例 1 個宛大キナピンク色ノ油樣體ガ見ラレル。北アルプス中房溫泉ヨリ燕嶽ヘノ登山路ニ於テ樹皮ニ着生シテ居ルモノヲ採集シタ。

87) **いてふうろこごけ**ハ北半球ノ寒帶又ハ高山等ニ廣ク分布スル種デアルガ、本邦ヨリハ *Jungermannia exsecta* SCHMID. ナル名稱デ八甲田ヨリ報告サレ、又 *Sphenolobus exsectus* STEPH. ナル名稱デ臺灣新高山ヨリ報告サレタノミデアル。然シ本種ハ我國ノ高山ニハ相當廣ク分布スルモノデアルガ、コヽニ武藏國天祖山デ採ツタ標本ヲ圖示シタ。本屬ノ特徵ハ葉ガ不同ニ 3 裂スル點デアツテ 3 種ヲ含ムガ其內 *T. quinquedentata* (HUDS.) BUCH ハ先ニ本州ノ高山ニ產スル事ヲ報告シテオイタ (本誌 18 卷 8 號 488 頁)。

(東京科學博物館植物學部)

○さくらゐさうノ產地美濃川上 (原 攝祐)

渡邊淸彥氏ハ本誌 20 卷 2 號ニさくらゐさうノ歷史ノ中ニ「故伊藤篤太郞博士ノ言ニヨレバ水谷豐文ハ美濃川上ニ於テさくらゐさうト思ハレルモノヲ採集シ原稿“蘭”ノ中ニ書イテ居ル。而シテ水谷豐文採集品ニさくらゐさうガ見出サレタカラ上記ノ川上ニ於ケル採集品ノ圖ハさくらゐさうニ違イナイトノコトデアル」トアル美濃川上トハ何處?水谷豐文ノ木曾採藥記ニヨルト木曾ニ入ル場合ニ岐阜縣惠那郡川上村ヲ通過シ又歸途ニモ同川上村ヲ通過シテ居ルノデ此川上村ニテ採集シタモノニ間違ハナイコトヲ證明セン余ハ此川上村ニ於テさくらゐさうヲ採集シさくらゐさうト呼ブヨリハ寧ロゑなさうト呼ビタイト稱シ岐阜縣教育會雜誌ニ發表シタコトガアル次デ加藤新市氏ハ可兒郡久々利村ニ發見シテみのさうト呼ビタイトノ意見ヲ發表サレタコトガアル、從テ櫻井氏ガ美濃惠那山ニ採集セラレタノガ第二ノ產地デ渡邊氏ノ記事ニヨレバ川上村ガ第一ノ產地デ第三回目ニ余ガ採集シ第四番目ニ加藤新市氏ガ可兒郡久々利村ニ發見サレタコトニナル。惠那郡川上村ニハ今日デモ本草ノ自生地ハ澤山アリ珍ラシキモノデハナイコトヲ報告シテ置ク、尙ホさくらゐさうノ花式圖ヲ岐阜縣教育會報ニ掲ゲ誰レカ之ヲ校章又ハ鄕土ノ紋章トナスモノハ無キヤト書イタコトモアル。